

NEWS RELEASE

SANSUI-SHA

×  Tanseisha

2023年3月1日
株式会社山翠舎
株式会社丹青社

古民家・古木^{こぼく}活用の山翠舎と空間づくりの丹青社、 古木の空間活用促進に向けて業務提携を締結 ～古木の魅力を活かした幅広い空間づくりで、SDGs や地域創生への貢献を推進～

古民家・古木^{こぼく}（※）の活用を事業の柱に掲げ、持続可能な社会づくりに取り組む株式会社山翠舎（本社：長野県長野市、代表取締役社長：山上浩明、以下「山翠舎」）と商業施設・文化施設などの空間づくりを行う株式会社丹青社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋貴志、以下「丹青社」）は、このたび業務提携契約を締結しました。

本締結により、さまざまな空間に良質な古木を取り入れるにあたり、高度な技術を必要とするデザインや施工においても古木を積極的に導入できるようになるほか、古木をより幅広く活用するための検証を両社で行い、規模を問わず、古木の魅力を活かした空間づくりを求める事業者の期待に応えます。また、山翠舎は古木の販路拡大、古木の専門工事や古民家移築等の業務強化につなげ、丹青社はホテル、専門店、大型複合施設、文化施設、駅など多様な分野において古木の採用提案・導入を行い環境に配慮した空間づくりを推進することで、両社とも事業を通したサステナビリティへの貢献を進めてまいります。

※古木^{こぼく}：山翠舎の定義する古木とは、戦前に建てられた築80年以上の古民家の解体から発生した柱、梁、桁、板の木材のこと。社内には在籍する古木スペシャリストが、虫食いや水漏れのない状態を確認し、保管状態が良く、古民家の建てられた年代や場所、木材など入手ルーツが明確でトレーサビリティが確保されているものを定義している。

「古木／こぼく／KOBOKU」は山翠舎の登録商標です。



山翠舎 代表取締役社長 山上浩明（左）、丹青社 取締役専務 小林 統（右）

<リリース全般に関するお問い合わせ先>

株式会社山翠舎

担当：大島

Tel：050-5445-1390

株式会社丹青社

広報室

担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115

Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp

■業務提携締結の背景

人口減少等に伴い、日本各地には使われなくなった古民家が点在・増加しています。そこから取り出される古材のリユースは、循環型社会の形成を推進するとともに、持続可能な生産と消費、気候変動への対策、経済成長と雇用など、SDGs（持続可能な開発目標）の達成にも幅広く寄与します。

山翠舎は従来廃棄されていた古材に、大工の手仕事の跡やトレーサビリティに基づくストーリー性を付加価値とし「古木」と定義することで、環境・社会・経済の全てが循環する仕組みを構築しています。丹青社は、建材・装飾材等の廃番品専門 EC サイト『フォーアース（4earth）』の運営など、『サステナビリティアクション』として事業を通じた持続可能な取り組みを全社的に推進しています。

古木のスペシャリストである山翠舎と空間創造のプロフェッショナルである丹青社が実際に空間づくりを手がけた実績から、本取り組みをより広く普及させるため、今回の提携に至りました。より幅広い空間に古木を取り入れることで、環境に配慮した空間づくりを可能にするほか、昨今増加しているサステナビリティ、SDGs を強く意識する事業者の要望にも対応します。

●2社で手がけたプロジェクト（2021年）

『治一郎 エキュート東京店』（事業主：株式会社ヤタロー）古民家で使われていた古木と普遍的な金属素材を用いることで、治一郎ブランドの変化する時代にあって変わらない味とものづくりへの想いに重ね、“時とともに変化するもの”と“変わらずそこにあり続けるもの”を表現しました。

撮影：PIPS



■今後の展開

2社で空間への古木の利活用を推進することで、廃棄物の減少、CO2削減、廃棄コストの削減等、SDGsの達成に貢献する取り組みを進めるほか、古木の流通促進にも寄与します。

また、日本各地で増加を続ける空き家の古民家を事業者とつなげることで新たな事業づくりをサポートし、古民家そのものの利活用により地域の活性化にも貢献してまいります。

■両社コメント

●山上 浩明（やまかみ ひろあき）／株式会社山翠舎 代表取締役社長

丹青社様との連携により当社のスケラビリティ向上が期待でき、当社の古木に関する多くのご相談への柔軟かつ幅広い対応が可能になります。また古木を活かした空間づくりを丹青社様と行うことで互いの専門力を発揮でき、当社は古木に関わる業務に特化し、より専門性を追求できます。更には、「日本古来の建築文化を世界に発信する」という私たちの想いの実現につなげてまいります。

●小林 統（こばやし おさむ）／株式会社丹青社 取締役専務

新材にはない耐久性を備えた質の良さ、資源の再活用に加え空き家問題解決にも貢献する人と環境への優しさ、所有者の想いが次代に受け継がれていくストーリー性、山翠舎様の扱う木材が空間づくりに与える影響は多方面にわたります。2社の連携によって、古木の魅力を活かして空間の価値向上と社会課題の解決に取り組み、さまざまな分野において、より豊かな空間創造を目指してまいります。

<リリース全般に関するお問い合わせ先>

株式会社山翠舎

担当：大島

Tel：050-5445-1390

株式会社丹青社

広報室

担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115

Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp

■ 山翠舎について

私たち山翠舎は、1930年に建具職人の山上松治郎が創業した木工所が始まりです。現在は「古民家の山翠舎」として、古民家の再生・移築・解体をはじめ、古木を活かした商業施設内装の設計施工、及び古木プロダクトの製作・販売をしています。近年では古民家・古木の価値向上を目指し、海外向け古木ブランド展開や、古民家を活用したコワーキングスペースの運営も行っています。

社名：株式会社 山翠舎（さんすいしゃ）
所在地：長野県長野市大字大豆島 4349-10 〒381-0022（本社）
（東京オフィス：東京都渋谷区広尾 3-12-30 1F 〒150-0012）
設立：1970年7月28日（創業 昭和5年）
資本金：3,000万円
URL：<https://sansui-sha.co.jp>

■ 丹青社について

「ここを動かす空間創造のプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名：株式会社丹青社
所在地：東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F 〒108-8220（本社）
設立：1959年12月25日
資本金：40億2,675万657円（2022年1月31日現在）
上場：東京証券取引所プライム市場（証券コード：9743／業種名：サービス業）
URL：<https://www.tanseisha.co.jp>

<リリースに関するお問い合わせ先>

●山翠舎へのお問い合わせ

株式会社山翠舎 担当：大島 Tel：050-5445-1390
お問い合わせフォーム：<https://sansui-sha.co.jp/contact/>

●丹青社へのお問い合わせ

株式会社丹青社 広報室 担当：石綿、寺戸 Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp
お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。
その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

<リリース全般に関するお問い合わせ先>

株式会社山翠舎 担当：大島 Tel：050-5445-1390
株式会社丹青社 広報室 担当：石綿、寺戸 Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp